

第3期魚津市教育振興基本計画（案）に対するご意見及び回答

市民等から寄せられた意見・質問	意見・質問への回答
<p>1 P68の「2 小中学校教育のあり方検討」について、学校施設の老朽化対策や学校規模の適正化について、本計画では「適時適切に検討する」との表現にとどまり、計画期間内の位置づけが分かりにくいと感じました。施設の老朽度や児童生徒数・学級数の推移など、これまで示されてきた方針を踏まえた検討の視点や判断基準、計画期間内における検討の位置づけについて、一定程度明示することが望ましいと考えます。</p>	<p>小中学校の建て替えを含む学校教育のあり方検討につきましては、まず、令和8年度中に教育委員会を中心とした庁内検討会を立ち上げ、概ね1年間をかけて基本的な考え方をとりまとめたいと考えております。</p>
<p>2 まずは、“基本理念”と“基本目標”の間に『教育論』と『教育環境改善論』二つの項目を付け加えて再分類してみてもいかがでしょうか。</p> <p>例えば、“基本理念”人を思いやり〈中略〉～『教育論』～“基本目標”社会情勢に応じて〈中略〉『教育環境改善論』～“基本目標”安心安全な学校施設の拡充〈中略〉とし、また基本目標文面最後文字に“学”を加えてみるはいかがでしょうか。(育成学・拡充学)</p> <p>行政機関が発行する公文書に“論”や“学”に記載するのは是非論があるとは存じますが、読みやすく理解しやすい文面になるかと思えます。</p> <p>また私見ですが、代々語りつなぐ『推しの人生訓“健康第一”』や旬の話題『AI・ネット文化の世界』は基本目標の独立トップ項目に記載される文言、次回改正時に是非。</p> <p>老若男女誰もが情報を判断する力量・人を信用できない疑いの日々、人生の先が見え将来の不安を軽減する『住民総生涯教育学』を。</p>	<p>いろいろなご意見があるかと思いますが、ご指摘のように読みやすく理解しやすい文面となるよう心がけておりますし、今後も努めてまいります。</p>